

ロンドン、2018年12月11日

中国・江蘇沙鋼よりツインレードル炉を追加受注

- この3基目となるツインレードル炉により、年産合計280万トンの溶鋼処理を実現
- 連続鋳造機で使用する溶鋼の質が向上し、高付加価値製品への展開が可能に
- この追加受注は、プライメタルズのツインレードル炉に対する顧客満足度の高さの証明

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、中国の鉄鋼メーカーである江蘇沙鋼集団有限公司（Jiangsu Shagang Group Company Limited：江蘇沙鋼）より、中国江蘇省張家港市にある同社の転炉製鋼工場向けとして3基目となるツインレードル炉を受注し、2019年の第2四半期末に完工の予定です。

既存の120トン型ツインレードル炉2基も当社が納入したのですが、さらに140トン型のツインレードル炉1基が新規に追加されます。新たなレードル炉の追加によって、年間合計280万トンの溶鋼を処理できるようになるだけでなく、連続鋳造機で使用する溶鋼の質が向上するため、高付加価値製品への展開が可能となります。

江蘇沙鋼は、中国の民営鉄鋼メーカー最大規模の年産3840万トン超。粗鋼3920万トン、圧延製品3720万トン。製品には、厚板、熱延コイル、鋼線、異形棒鋼、特殊丸棒鋼などがあります。

江蘇沙鋼ではLD転炉で溶鋼を生産しています。当社が新たに納入する140トンのツインレードル炉は、下流のブルーム鋳造機に要求鋼種を正確な鋳造温度で注入、用いられます溶鋼によっては、真空処理の前後にレードル炉で計2回処理が行われます。このレードル炉には定格電力26MVAの変圧器から電力が供給され、毎分4°C超の昇温が実現されます。当社は、ツインレードル炉のエンジニアリングと主要コンポーネント、電極制御システム（Melt Expert）と関連のレベル2モデルなど、付属電気機器やオートメーション機器の供給、さらに据付けおよび試運転指導、客先オペレーターのトレーニングも担当します。



プライメタルズテクノロジーズのツインレードル炉

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com